

『社会学研究』第79号(2006年6月22日刊)

特集 「パーソンズの知的遺産」

- ・「巻頭言 パーソンズ研究の現在」(高城和義)
- ・「パーソンズ・ベイトソン・再魔術化 脱パラドクス化と身体」(油井清光)
- ・「ドイツ社会学におけるタルコット・パーソンズの受容過程の分析 『ケルン社会学・社会心理学雑誌』における引用動向を中心に」(徳安彰)
- ・「パーソンズの社会成層論 平等・不平等にかんする若干の考察」(高城和義)
- ・「専門職と「開かれた自律」 後期パーソンズ医療社会学の射程」(田代志門)
- ・「ロバート・ベラーのパーソンズ論 パーソンズ理論の受容と革新」(山本智宏)
- ・「パーソンズのデュルケム論 普遍主義的紐帯の可能性」(西山宝恵)

論説

- ・「後発産業社会における社会移動の趨勢とパターン 日本と韓国の社会移動にみられる相違と類似」(三輪哲)
- ・「信頼論の再構築 信頼の一般的定義とその諸基礎の区別に基づいて」(安達智史)
- ・「ノーマン・K・デンジンにおける「文化批判」の問題構制 『シンボリック相互行為論とカルチュラル・スタディーズ』を中心に」(新田貴之)
- ・「コミュニケーション的社会編成の論理における感情の位置 アダム・スミスの道徳理論における「感謝」と「憤慨」をめぐって」(牧野友紀)

書評

- ・ジョン・アーリ著(吉原直樹・大沢善信監訳)『場所を消費する』(評者 毛利嘉孝)
- ・伊藤守・渡辺登・松井克浩・杉原名穂子著『デモクラシー・リフレクション 巻町住民投票の社会学』(評者 帯谷博明)